

みうらトーク&トーク 平成 25 年度第 1 回

日 時

平成 25 年 7 月 29 日(月)

19 時 00 分～20 時 15 分

参加者

初声区長会

テーマ

今後の初声町を考えて



<意見交換・概要>

【議題 1 三浦縦貫道の今後の見通しについて】

市民 三浦縦貫道路Ⅱ期区間のうち、1. 9キロメートルの高円坊までの先行整備区間が、今後 3 年かけて完成されるとのことですが、残りの区間について、事前に住民の意見を十分聴いた上での道路整備をお願いします。

市長 三浦縦貫道路については県の事業ですが、初声小学校入口交差点の改良やプロパストの開発と関連してきます。今後の道路整備関係については、個別にご説明をさせていただきたいと思います。

【議題 2 プロパストの開発地付近の道路について】

市民 最近、カインズさんの説明会があり、道路関係のことについてはいろいろ解決してきているところですが、初声シーサイドタウンから国道に出られる道路が 1 本しかないのも、この道路のカインズホームさんの開店以降の混雑などの問題について、関係各区で協力して、市、県にお願いして解決していきたいと思います。

初声小学校入口交差点の改良工事について、情報があまりないので、説明いただければと思います。

職員 三浦縦貫道路Ⅱ期区間の先行整備区間の供用開始に合わせ、初声小学校入口交差点の改良工事も完成するように計画を進めているところです。現在、県・市で用地取得を進めています。用地取得がある程度進んだ段階で、工事説明会を開催する予定です。

市民 カインズホームさんの開店以降の、店舗への出入りする交通の流れについては、ご説明がありましたが、それ以降に新たに別の店舗が開店したときに、初声シーサイドタウンに至る道が 1 本しかないことが心配です。三浦臨海高校の通学路、初声シーサイドタウン、カインズホームさんとそれ以降に新たに開店する店舗に出入りする交通を考えると、あの道路で大丈夫なのかとても不安に思います。カインズホームさんだけに対応する道路ではなく、将来別の店舗が開店した後のことを見越して、この地区の開発について想定に入れるべきではないでしょうか。

市長 いただきましたご意見を考慮して調整していきたいと思います。

【議題3 市道1892号線の整備について】

市民 整備費用を詰めて、事業化のスケジュールに入るとのことですが、予算や優先順位のこともあると思いますし、改良区全体のことも考えていただけるということですので、それを待ちたいと思います。

市長 現場は道路に泥がたまりやすくなっているため、毎年、農家のみなさんに集まっていたいて水路の掃除をしていただいています。水路敷きを利用してこの周辺の道路を拡幅できないかということを初声土地改良区と土木課で調整をしています。三浦縦貫道路の先行整備区間の開通後には抜け道としての交通量も増加するのではないかと想定していますし、三浦縦貫道路の開通までに整備に着手できれば良いと思いますので、それをふまえて対応したいと思っています。

【議題4 赤坂の切通し部分（市道10号線）の整備について】

市民 いつぐらいに整備できますでしょうか。

職員 まず、整備の方法ですが、のり面を抑えて崩れなくする方法や、崩れても土砂が道路まで来ないようにする方法があります。それらを、予算との関係で調整して、可能となった時期に地元の方にはお諮りしたいと思います。なるべく早い時点で予算要求をしたいと思っています。

市長 この件は、毎年議題になるところですが、先ほどの市道1892号線の水路関係の整備と市道10号線ののり面のところも併せてできるのがベストであると思いますので、いつまでにやるというお約束はできませんが、鋭意進めてまいりたいと思います。

【議題5 三戸地区の道路（市道17号線）の整備計画状況について】

市民 本年度事業着工ということですが、着工予定日と工期はどのくらいになるでしょうか。

職員 着工予定は、冬の始まりのころ、工期は遅くても3月いっぱいまでという予定です。工法、時期が決定しましたら地元の方みなさんにご説明いたします。

【議題6 和田唐池地区の排水路の浚渫計画について】

市民 和田唐池地区には、赤羽根区と和田の里区の両方にかかる排水路があり、ふれあいの村のところで地面の中にしみこませるというような形で処理をしていますが、多分、本格的な処理方法ではないと思われます。以前開催されたみうらトーク&トークでは、三浦市の予算の中での下水の整備計画なので、整備が遅れているが、順番で回っていくということがありました。毎年、浚渫していただいています。排水路付近のにおいが気になります。今後とも、毎年の浚渫工事をお願いします。

市長 浚渫で解決するのはその年だけですので、根本的な解決にはなっていません。そもそも、下水道計画がきちんとできれば一番良いのですが、厳しい状況です。

また、ふれあいの村の見直しの話があり、ふれあいの村を民間に委託する動きがありま

す。神奈川県にはふれあいの村が、足柄、愛川、三浦に 3 つあり、神奈川県は三浦のふれあいの村の廃止の方針を出しました。しかし、神奈川県の財産は海と山ですから、山の施設を 2 つ残しておいて、海の施設はなくしてしまうというのはおかしいということで、県と調整をして、海の教育のための施設は残すということになりました。県の財源のこともあり、民間委託をしていく仕組みになり、現在は YMC A さんが運営をしていますが、施設そのものの整備も民間にまかせようというような動きになろうかと思います。

三浦市としては、ふれあいの村の施設内で、唐池地区の排水路の関係の処理をしていますので、例えば、この場所に大型のコミュニティプラントを作るとか、そういった形で解決ができればという考えがあります。その調整をこれから行うので、根本的な解決ができるように今後 1 ～ 2 年の間に方向性を出していきたいと思います。

【議題 7 三崎高校跡地利用について】

市民 三崎高校跡地について、どのくらい大きなものが建つのか、いつごろ建つのか、具体的なことが分かれば説明していただきたいと思います。

職員 三崎高校跡地については、民間のノウハウ、資金を活用して施設などの整備をする方針であり、民間事業者による事業提案の募集を行い、現在、応募のあった提案の審査をしています。民間施設については、市から施設の規模についての条件は設定していません。審査中でもあり、民間施設の規模は未定であるということでご理解ください。市の施設については、約 5 0 0 m²の図書館と市民交流センターは入れる条件になっています。

また、三崎高校の体育館跡地には、平成 2 7 年度運用開始に向け、3 階建ての消防本部庁舎を建設予定です。

市長 三崎高校跡地利用について、民間の資金・ノウハウを活用する方針で、応募があった事業者の提案を受け入れるところまで行けば、近隣のみなさんをはじめ、市民のみなさんにもご説明をしていくという段取りをしていきたいと思います。

体育館跡地の消防本部庁舎の建設については決定しています。引橋と三崎にある消防の庁舎を統合し、平成 2 7 年の 4 月に新庁舎が完成予定です。将来的に横須賀と三浦の消防が統一されたとしても、三浦の支所として残していくので、三浦から消防署がなくなることはありません。

【議題 8 災害時要援護者名簿に記載されている方への対応について】

市民 各区には災害時要援護者名簿が、配布されています。これに対して市はどのようなサービスをしているのでしょうか。また、記載されている方の健康面などをどのくらい市の方で把握しているのでしょうか。

市長 災害時要援護者名簿と、福祉サービスの関係は一致しません。災害時要援護者名簿の作成については、民生委員さんに中心になっていただいて、何かあったときに行政なり地域が支援をしなければいけない方の名簿の整備をしていますので、要援護者名簿に名前が載っていることと、福祉サービスに直接関連があるということではありません。ですから、市で実施している福祉サービスを受けているから災害時要援護者名簿に載るということ

ではありません。

市民 災害時要援護者名簿に記載のある方が昨年 1 名お亡くなりになりましたが、名簿に記載されたままになっています。

こういった件では、行政の方である程度把握しておいてもらわないと、なかなか区だけで対応するのは難しいと思います。

職員 亡くなった方が名簿に記載されたままということについては、名簿の更新が 1 年ごとでするので、次回配布する名簿にはそれが反映されることになります。

災害時要援護者名簿の使い方について、地区でわからないということであれば、地域防災委員あてに地域防災マップづくりに協力いただきまして、どのように避難したらいいかを検討していただいて、災害時要援護者名簿の使い方などを検討していただければと思います。

市民 民生委員やその仕事内容について、あまり知られていないようです。民生委員の仕事などについて、市の広報に載せてもらいたいのですが。

職員 民生委員は、まず区長さんに推薦していただき、市で推薦会を開いて、県を通して国に推薦するという仕組みで委嘱されます。今年は改選の時期ですので、区長さんに適格要件、民生委員の仕事の内容について、チラシをもってご説明したところです。

市長 民生委員さんには報酬もなくボランティアでやっていただいています。とても大変な仕事であることを広報することが必要であると思いますので、広報紙で民生委員さんにどのようなことをやっていただいているかなどをお知らせするようにします。

市民 災害時要援護者名簿の使い方としては、災害時に要援護者の方を区で対応し、その方と一緒に避難することなののでしょうか。

職員 災害時要援護者名簿は、自力で避難できない方が名簿に載っています。一分一秒を争う災害時には、公共の機関だけで要援護者の全員を避難させるには、時間が足りませんので、この方たちを助けるのは地域の手で行うしかなく、近隣の方々により助けることが必要になってきます。

【議題 9 市立病院の送迎バスの便数について】

市民 送迎バスは予算の関係上増便できないということですが、路線バスで使えるバス券を発行することはできないのでしょうか。行きについては、病院の送迎バスを使えますが、帰りの送迎バスがありません。

職員 いまのご意見の件について、京急さんと話したことはありません。京急さんの事情もあると思いますので、今のご意見を基にどういうことができるか、今のご意見以外も含めて、どういったかたちで、送迎のお手伝いできるかということは考えていきたいと思います。

現在、送迎バスのほかに、ワゴン車での送迎も行っています。初声地区へ直接のワゴン車の送迎はありませんが、11時10分の定期便が出た後から13時までの間は、ワゴン車の送迎を利用する人がいればワゴン車の空きしだい、栄町バス停まで順次お送りしています。

市長 京急さんの路線バスですが、市立病院に行くことができるバスが、現在、朝のうちしか

ありません。また、現在の城ヶ島行きの路線バスの経路は、市立病院を経由せず、三崎の下町を通り、向ヶ崎を回って城ヶ島に行く路線しかありません。その経路を、引橋方面から城ヶ島入口交差点を左折し、市立病院を経由する路線を作ってほしいということを、城ヶ島観光のための路線と一緒に、京急さんに頼んでいます。

病院の送迎バスについては、バスの利用需要が多ければ、それに対応できるように利用者が多いところに多くバスを出すというように検討します。

【議題 1 0 避難経路の光る目印について】

市民 暗いときにも避難経路が分かるように、光る目印で表示してほしいと思います。

職員 平成 23 年度から、沿岸地区 35 区で、区の方々と共に、避難訓練を実施しています。その中で 117 の避難経路を検証しました。その避難経路のほとんどに防犯灯はありますが、停電時は点灯しませんので、そういった場合に蓄光塗料の目印が役立つということは認識しています。

蓄光塗料については、2 年位前から出てきていることを確認しており、これを使って目印にしている他の自治体もあるようです。しかし、これが何年光り続けていけるか、まだ実証されていないところですので、現在、これを検証しているところであり、直ぐに着手できない旨をご理解いただきたいと思います。

市長 この件については、前向きに検討する必要があると思います。

【議題 1 1 道の駅について】

市民 若い農家さんの活躍の場を増やすため、道の駅などができればよいと思います。

市長 長井にできた「すかなごっそ」の来客数は多く、成功しているといえます。今後、水産物を売る店も入るといことなので、その影響で、三浦への来客が減少するおそれがあります。それに負けないように三浦市としても、策を講じていくつもりです。こういった、「道の駅」は必要であると思います。どこに必要なか、どういった事業形態になるか、また、財源も必要となってくるので、検討する必要があります。

【議題 1 2 三崎口駅周辺の商業開発】

市民 三浦海岸桜まつり開催について、最寄駅を三浦海岸駅と案内しているとのことですが、かなりの観光客が三崎口駅にも流れて来ています。これらの来客に対応するため三崎口駅周辺にも何らかの施設が必要ではないでしょうか。

市長 三浦海岸駅から三崎口駅までの間は、民間の有志のみなさんによって、桜の木を千本植えていただきまして、観光名所になっています。この来客に対応するため、小松ヶ池公園のトイレのあたりにテントを建てるなどして、観光客が休憩するスペースは必要という認識はありますので、そこの土地を使わせてもらう交渉も始めています。

三浦海岸駅に戻らず、三崎口駅へ向かう観光客の流れもありますが、三崎口駅周辺の開発となると、京急の駐車場などありますので、長期的にみていただきたいと思います。

市民 小松ヶ池の周辺に観光客向けの駅の方向を案内するものがが必要です。

市長 目立つところに案内板は必要ですので、対応します。

【議題 1 3 下宮田公園の遊具について】

市民 危険な遊具が撤去された後、遊具が設置されてない状態ですので、新しい遊具を設置していただきたいと思います。

市長 下宮田公園だけでなく、市内の各公園で遊具の設置の要望をいただいています。予算の関係から、危険な遊具を撤去した後に、新しい遊具を入れられない状況です。改善したいという思いはあります。

職員 危険な遊具は撤去しています。また、新しい遊具を入れるとなると、一つ一つが高価なものでありますので、遊具を撤去した遊具のない公園に一度に設置するというのは厳しい状況です。遊具整備に対する国等からの補助金は、国の方針が切り替わった時点で予算化されるケースがありますので、その補助金の採択が可能となった時点で、遊具整備の予算を立て、設置することになります。今後の遊具整備は、国等の補助金を活用しながら行っていきたいと思っています。

市長 使われていない公園をそのまま公園にしておくことに疑問があります。財源が不足しているなか、使われていない公園があれば、それを集約化して余った土地は処分していくというようなドラスティックなことをする必要があると思います。しかし、公園の利用がある限りは、廃止するのは難しいと思います。そういったこともあわせながら、検討しています。

公園の遊具については、ニーズが高いですから、なるべくできるようにしていきたいと思っていますので、ご理解ください。

【その他】

市民 蓄光式の目印になるものというお話が先ほどありましたが、各区で災害時の備蓄用品を購入しなければいけないことがあります。区でも予算はあり、買えないわけではありませんが、安く買えるように市役所であっせんしてもらえませんか。

職員 三浦市では、災害時物資供給協力店、いわゆる流通備蓄という仕組みがあり、災害が起きたときには、生活必需物資等の供給していただく協定を結んでいます。カインズホームさんもオープンした際には、協定を締結する予定です。

市長 東日本大震災の当日は、クリエイトさんに在庫を供給していただき、各避難所に配布することができました。カインズホームさんもそのようになろうかと思いますので、協力店との提携は引き続き行っています。

市長 短い時間ではございましたが、これで終わりたいと思います。親切、丁寧、まごころ、これを基本に市の職員には対応するように指示しています。何かありましたら、市役所にご相談ください。ありがとうございました。

※ 公表については了承を得ております。